

学校関係者評価書

2021年9月4日（書面）開催

名古屋工学院専門学校

1. 学校の重点目標

1. 教員の質

- 1) 公開授業を通じた教員相互間の評価、学生授業アンケートのフィードバック、あるいは教員研修への積極的参加などを実施することにより、教員の教育力向上を図る。

2. 教育内容の質

- 1) グランドシラバスおよびそれに基づくシラバスの点検・整備などにより、自らカリキュラムの更新を継続するとともに、教育課程編成委員会において企業からのアドバイスをいただくことにより、社会から必要とされる知識・技術の導入を図る。
- 2) より実践的な教育を進めるため、企業あるいは関連業界団体とのよりいっそうの連携を図る。

3. 教育成果の質

- 1) 各分野・学科が設定している教育目標の達成度向上に向けた工夫を行い、より高い成果を実現する。
- 2) 就職を教育成果の最終成果ととらえ、就職率向上に向けた施策を実施する。

4. 学習環境の質

- 1) 学生が、日常において教育を受け生活する校舎ならびに教育施設・設備の充実について、継続した施策を実施する。
- 2) 卒業直前に、在学期間における本校の教育サービス全般（ハード面、ソフト面）について学生の満足度調査を行い、その結果に基づいて学習環境の改善を図る。

2. 学校の重点目標に対する評価・意見

- ① コロナ禍の中、過去順調に伸びてきた成果に対し、逆境が生じております。その中でこそ、基本となり、貴学の特徴である、専門就職を第一とするための、あらゆる方面の質的重視への取り組みに共感いたしました。
- ② 教育、教育内容、教育成果、学習環境の質等、重点目標をしっかりと見極め行っていると思います。
- ③ 教職員の能力を高めるための研修やインターンシップ実施に取り組んでいることは、学校の教育レベル向上になり、大変良いことと思うし、今後も充実させて欲しい。
- ④ 資格取得向上に対する取り組みは素晴らしいものがあると思います。専門的な資格を有する人材を輩出していることは社会的に高い評価と思います。
- ⑤ 目標は概ね達成されていると感じました。
- ⑥ コロナ禍における休講やまったなしで進めていかなくてはならないリモート授業、そして就職活動と学校側においては考えられない出来事だったのではないかと思います。その中で懸命に生徒達のために取り組んで頂けた事は高評価に値すると思います。

3. 学校自己評価報告書についての評価点の平均

基準ごとに 次の3点について 4段階で 評価してください	学校が行った自己評価の結果が 適切かどうかについて。	学校運営等の改善に向けた 実際の実践が適切であったか。	自己評価の結果を踏まえた 今後の改善方針が適切であったか。
	4：適切な評価である	4：十分適切な取組みである	4：十分な効果が期待できる
	3：ほぼ適切な評価である	3：ほぼ適切な取組みである	3：ほぼ十分な効果が期待できる
	2：やや不適切な評価である	2：あまり適切とはいえない取組みである	2：あまり効果が期待できない
	1：不適切な評価である	1：適切とはいえない取組み	1：効果は期待できず、改善を要する
(1) 教育理念・目標	4.0	4.0	4.0
(2) 学校運営	4.0	4.0	4.0
(3) 教育活動	3.9	3.9	3.9
(4) 学修成果	3.9	3.9	3.9
(5) 学生支援	3.9	4.0	4.0
(6) 教育環境	3.9	3.9	3.9
(7) 学生の受入れ募集	4.0	4.0	3.9
(8) 財務	4.0	4.0	4.0
(9) 法令等の遵守	4.0	4.0	4.0
(10) 社会貢献	4.0	4.0	4.0
(11) 国際交流	3.5	3.9	4.0

4. 今後の改善方策についての意見と具体的な改善方策

- ① 就職率の向上という項目に昨年度実績が芳しくなかったとの結果がありました。企業の採用募集が少なかったなど自助努力では何ともしようがない点もあったでしょうが、企業が求めている人材として学生自身が成長できているかが非常に重要なポイントであると感じます。貴校で学ぶ技術力はしっかり身に付けておいて欲しい。

近年の新型コロナウイルス感染症に伴う、企業の求人もかなり減少されていると考えます。「最大の評価は就職にあり」と学校目標を置いての教育は評価に値すると考えます。これからも、この目標に沿って学校運営・教育を行っていただきたいと考えます。

求人数が大幅に減少する状況は過去に幾度となく経験しております。本校は、どのような時代であっても「社会から必要とされる知識・技術」が学べる学校として教育活動を続けております。

目標とする専門職へ就くために、柔軟かつ実践的なカリキュラムを展開しており、コロナ禍の中、2020年度の卒業生における就職未決定者に対しては、卒業後においても手厚く、きめ細かい指導を行い、現在（学校関係者評価委員会開催時）においては、96%を超える高い就職率を確保することができました。

- ② 改善につながるかはわかりませんが、近年離職率が高くなっているといわれています。学園の卒業生の離職率が低いことは、学生募集にも就職先との関係作りにもつながるのではないかと思います。

離職原因は、職場の人間関係に起因する事が多く、コミュニケーション不足等、社会への適応能力不足が問題となっております。本校では、就職活動を始める学生に対して、「企業研究セミナー」や「業界研究セミナー」を通じて、企業に対する研究を行い、企業選択におけるミスマッチを防ぐための取り組みをしていると共に、社会人として必要な知識を「キャリアガイダンス」という科目を通じて学生に学んでもらっています。

- ③ 私は昨年度までプロフィット部門で新入社員を受け入れていた組織長の立場から感じていた事は、最近の新入社員への印象として、入社までに社会人になる準備が出来ている人材とそうでない人材は入社後の伸びに大きな差が生じていました。具体的に言えば自分自身が成長しようとしている人材は伸びが早く、受け身な人材は何年経ってもワーカー（作業する人）としてしか見込めない。ポジティブシンキングの学びや論理的思考力を学んでいる人材を採用できることは、企業として非常に大きなメリットと考えます。現在のカリキュラムにこのような授業があるのか判りませんが、余地があれば検討いただけますと幸いです。

本校設置のすべての学科には、「キャリアガイダンス」という科目が組み入れてあります。社会人として必要な知識を習得するための科目です。内容は『基礎学力向上』『一般教養』『職業人意識』『ビジネスマナー』『就職活動指導』です。クラス担任が、講義形式または演習形式で授業をしています。指導内容によっては、就職斡旋業務を統括するキャリアセンター教職員、外部講師等による講演を実施しています。「キャリアガイダンス」の授業だけにとどまらず、就職指導を通じて社会人基礎力を身につけさせていきたいと思っております。

今後においても、高度な技術だけではなく、豊かな人間性を兼ね備えたスペシャリストを一人でも多く育成したいと考えております。

- ④ コロナ禍に対する問題点と改善方法などを協議してはどうでしょうか。例として学生向け各種セミナー、実習授業の実施方法、学生受け入れに対する体験入学や進学会、ワクチン接種などについて今後の取り組みを協議してはどうでしょうか。

2020年度は、コロナ禍の問題に直面し日々対応に追われた年度となり、幾度となく改善方策において協議を繰り返してきました。そうした中、大きな成果がありました。それは、オンライン授業やオンラインセミナーを確立することができたことです。

また、オンラインへの取り組みにより、2021年度の学生募集において、オンラインオープンキャンパスが開催できました。

ワクチン接種につきましては、接種を希望しない学生への不利益や差別が生じないよう配慮しております。

- ⑤ まだまだコロナ禍は続くと思われます。その中でリモート授業への取り組み方、実習への取り組み方が問題になってくるのではないかと思います。休講における単位不足はどうなるのか？学校でしか取り組むことができない実習がこの先減ってくるのが心配です。

リモート授業（オンライン授業）の学習効果を高めるために「オンライン研究授業」を行い、教員間で意見交換ができる体制を取り入れてきました。また、2020年度の春、国からの要請で休講となった科目においては、授業時間を確保するために行事予定の変更を行い対応しました。2021年度においては、オンライン授業が確立できたことにより、授業時間における不足の問題は生じない体制を作ることができております。

- ⑥ コロナ禍は2022年度には一定の収束をみるでしょうが、約2年間の影響が学生に残り、学生の先輩から後輩への学習する雰囲気がかちんと伝達されるか、またオンライン面接での対処など、貴学らしい質を保ちながら取り組んで頂けるとよいと思います。

2020年度においては学校行事の多くが中止となり、学生間の交流が減少しました。2021年度においては、日程変更・規模縮小を行いつつ、極力、学校行事が開催できるよう工夫しております。

また、コロナ禍での就職活動におけるオンライン面接の対処に力を注いできました。学内で面接できる場所や機材などの環境を提供したのと合わせて、カメラに映る自身の姿や、マイクで音声を伝えることを意識した面接への対応方法を指導してきました。